

学校評価だより

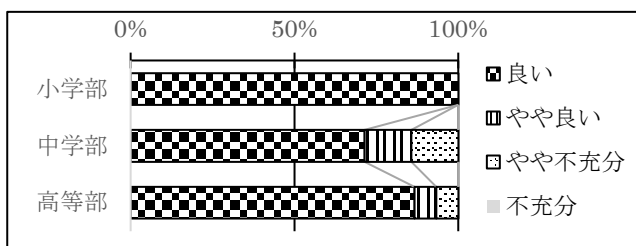
令和2年3月18日

福島県立猪苗代支援学校

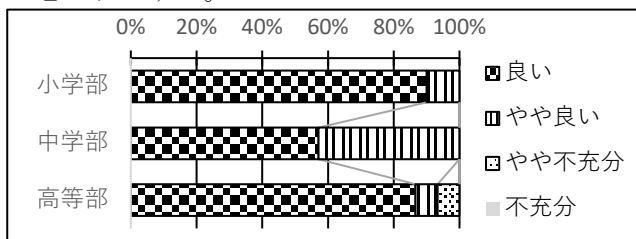
例年になく雪が少なくおだやかな冬となり、春の息吹を感じとれるようになってきました。今年度も、学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。アンケートに回答いただいた結果は、以下のとおりです。どうぞお気づきのことがあれば、遠慮なく学校にお伝えくださるようお願いいたします。

I 令和元年度 学校評価保護者アンケートの結果

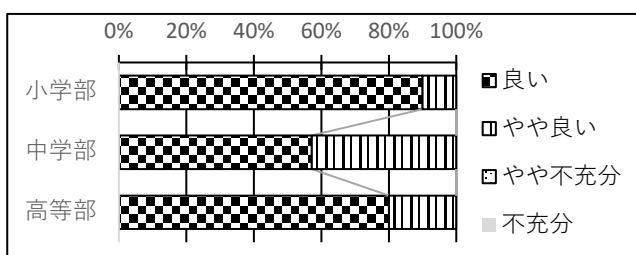
1 お子さんは、毎日、楽しく学校へ行っていますか。



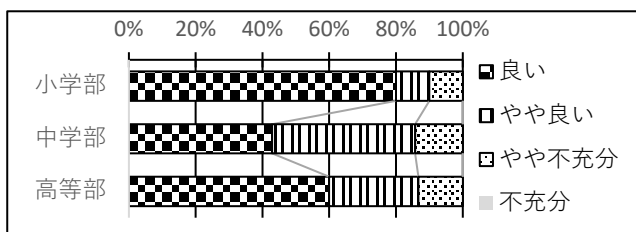
2 学校は、児童生徒に合った学習を行っていると思われませんか。



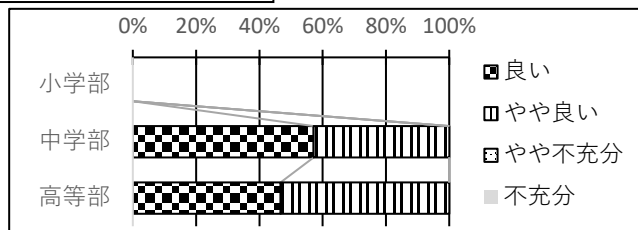
3 学校は、体験的な学習活動を多く取り入れ、児童生徒が将来の生活で必要になることを育てる授業を行っていると思われませんか。



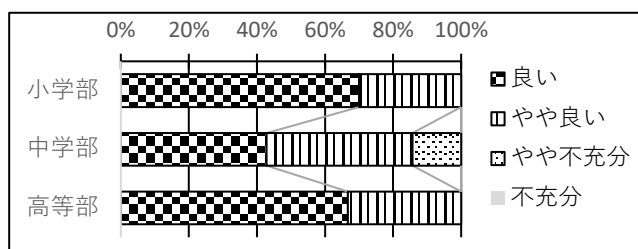
4 学校は、進路情報を分かりやすくお知らせし、卒業後の生活を考えた進路相談を行っていると思われませんか。



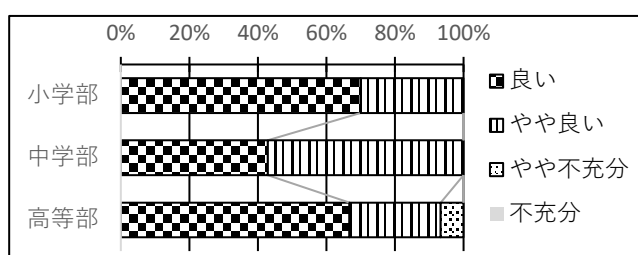
5 学校は、生徒に合わせた内容で、校内実習や校外実習を行っていると思われませんか。(中学部、高等部の保護者のみ回答)



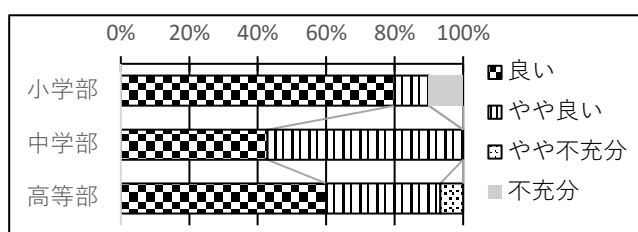
6 学校は、児童生徒やその保護者の相談に応じるとともに、通信「はあとふる」やホームページを活用して児童生徒の支援に役立つ情報を発信していると思われませんか。



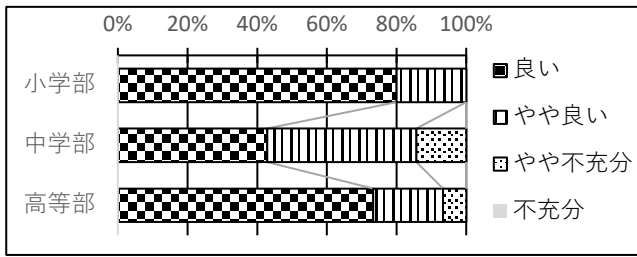
7 学校は、いなっ子セミナーなどを行い、地域の幼稚園や学校の教員と一緒に学び、良い授業を行うおうとしていると思われませんか。



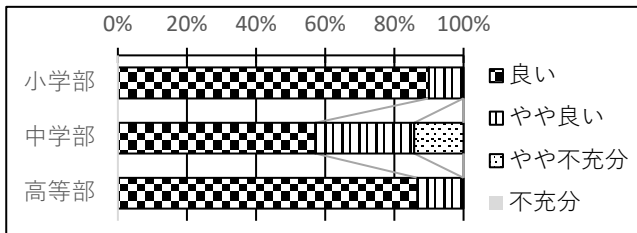
8 学校は、保護者やばんだい荘と協力して、児童生徒の安全を守ったり、問題の解決を進めたりしていると思われませんか。



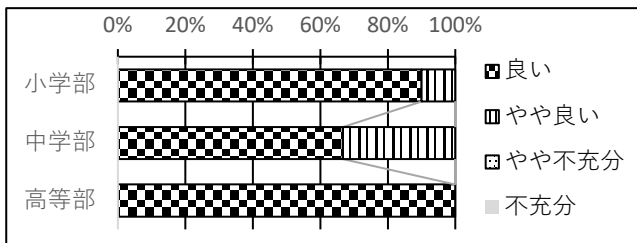
9 学校は、自分や他者を大切に思う気持ちを育てるとともに、命の尊さを伝え、いじめを許さない姿勢で指導に取り組んでいると思われませんか。



10 学校は、野菜などを栽培、収穫、調理する体験的な学習活動や外部講師を活用した食育教室を開催し、積極的に食育について取り組んでいると思われますか。



11 学校は、児童生徒の命を守ることを重視して、災害に対する備えや避難訓練などの防災教育を熱心に行っていると思われますか。



アンケートの中でいただいたご意見

- 「1 楽しく登校できる学校」
 ●朝の挨拶が生徒、先生も少ないのではないか。(高)
- 「2 児童生徒に合った学習と適切な評価」
 ●教科ごとにコミュニケーションがとれているのかどうかわかりにくい。(高)
- 「4 進路情報の提供と進路相談」
 ●充分とは言えない(小学部なのでわかりにくい)。(小)
 ●進路情報で実習先を決めるときなど分かりやすく(事業所の様子や作業内容など)してほしい。(高)
- 「8 保護者、ばんだい荘との協力」
 ●避難訓練の保護者引き渡し訓練にばんだい荘は参加していなかった。(小)
 ⇒ばんだい荘に入所している児童生徒は、施設での引き渡しを行っており、当日も引き渡しの訓

練として、ばんだい荘職員に引き渡しを行いました。

「9 自他の尊重といじめ防止の取り組み」

- いじめに関するアンケートの内容が言葉が話せない子供にとっては答えることが難しい内容であると思った。

「全般」

(小学部)

- いつも大変だろうと思いつつ助かっている。障がいがあってもできる姿を目の当たりにしていつも感動している。この学校に入れて、本当に良かったと思う。

(高等部)

- 小規模校ならではの指導や活動、雰囲気は大変恵まれていて満足している。
- 高等部に入ると急に大人の対応になる。卒業後のことを考えるのは大事だとは思いますが、体は大人になっても幼い子供達と同じなので、とても不安定になってしまう。その子に合わせた対応で進めてほしい。
- 高等部ということもあり、卒業後のことを考えなければならない時期なのは承知しているが、もう少し生徒との関わりが深くても良いのかなと感じる。
- クラスによって連絡や相談ができていない様である。担任が保護者に伝えてくれないと分からないことがたくさんある。

アンケートの結果やたくさんのご意見を参考に令和2年度の取り組みに生かしていきます。





Ⅱ アンケート結果を受けて次年度に取り組むこと

アンケートでは、全体として『良い』、『やや良い』の回答が多くよせられました。このことから、保護者の多くの方が、「よく取り組んでいる。」と評価していただいていることがわかります。

同時に、「やや不十分」と回答されたことについては、学校に対するご要望ととらえ、次の3つのことを次年度の課題とし、改善に向けて取り組みます。

課題となったこと

① 進路情報の提供と進路相談

教員から高等部卒業後、進路先にスムーズにつながるための情報提供に関する課題が挙げられました。

保護者からは実習先、進路先に関する情報、実習先、進路先を決定するまでのプロセス、福祉サービス利用に関する情報を求めていることがわかりました。

② 保護者、ばんだい荘との連携、協力

ばんだい荘職員とは福祉と教育といった立場の違いから来る視点、考え方の違いなどにより、すれ違ってしまふところがあると思われれます。

高等部の保護者からは、より生徒の能力に応じた関わり方を求める意見が出されました。

③ センターの機能の充実

地域支援センターの係が中心となって活動しており、教員全体としての関心度が比較的低迷しています。

改善に向けて取り組むこと

- 進路先に提供される情報の活用について検討し、卒業生の情報提供に役立てます。
- ホームページなどを活用して、積極的に進路に関わる情報の提供を行います。
- 保護者、ばんだい荘、学校の三者が共通理解のもと、実習に臨むようにします。
- ばんだい荘、学校の職員、教員同士がともに学びあふ機会や交流、親睦を図る機会について協議、実践します。
- 担任は学級懇談や個別懇談において、生徒との関わり方の意図や学部、学級の指導方針などを丁寧に保護者に説明し、共通理解のもと指導、支援にあたります。
- 地域支援センターはあとふるは、センター的機能の発揮状況について、さらに充実した広報に努めます。
- 教員は関心をもって情報を受け止めながら、実施状況を理解し、それぞれが担当する係などでセンター的機能をどのように発揮できるか検討します。



Ⅲ 学校評議員の方々の評価

本校では、学校の運営や教育活動の改善を進めるために、次の方々に学校評議員をお願いし、学校参観をしていただいたり、学校の取り組みについて知っていただいたりして様々なご意見をいただきました。

遠藤 光昭さん	猪苗代町心身障がい児（者）手をつなぐ親の会会長
星 恵子さん	猪苗代町人権擁護委員
青柳百合子さん	福島県ばんだい荘あおば兼ばんだい荘わかば園長
鈴木 宣夫さん	株式会社オートライト代表取締役
小川久美子さん	P T A会長

学校評議員会を、5月、11月、2月の年3回にわたって実施しました。評議員の方々から、主に、次のような意見をいただきました。



本校の良いところや改善が必要なところ

○良いところ、●改善が必要なところ

- 一人一人の能力に応じた学習ができています。
- 校内実習の様子を初めて参観した。衛生管理が生徒も教員もしっかりとしていて良かった。
- ホームページ、学校新聞等様々な工夫がされ、子供達が元気に頑張っている姿が伝わってくる。
- 地域、保護者への情報提供は「食育だより」「のびのびいなっ子」等で学校の活動が良く理解できた。
- 回覧板で他校の学校新聞が回覧されることがある。本校も学校新聞等回覧を依頼してはどうか。
- 地域との交流の場を積極的に作ってほしい。今後、どのように地域から支援をいただけるかが大事である。地域としっかりつながってほしい。
- 進路に関する情報提供に関しては、成長に合わせ、適切な情報提供をお願いしたい。
- 広報の中に卒業した生徒の働く姿やコメントが入っていると、どのような職場で働き、生活しているのか理解しやすい。